

## 過去生について

あなた方は過去に無数回の生命を受けてきたし、無数個の身体を通りすぎてきた。過去生にあなた方がどんな風であったかを知ることが、まったく有益ではないのであって、重要なことは未来生の準備をして、菩提を得ることができるように努力することなのじゃよ。究極的な観点から見ると、過去生は実際には幻の姿でしかない。相対的なレベルでだけ、われわれはあれこれさまざまな生について語るができるだけだ。ほんとうのところ、心相続はただ一個しかなくて、これは生死を超越している。心の本性の立場から見ると、過去生もなければ現在世もなければ未来生もなく、中陰（バルド）もないのじゃよ。

過去生は真実でない幻の姿じゃから、幻の姿について考え続けるのはやめなさい。そういうことを知らなくてもかまなわいののは、それらが世俗諦であって、勝義諦ではないからじゃ。言っておくが、現在重要なことは我執を打ち砕くことであり、そうして自分の心の本性を見届けることじゃ。過去生や未来生を考えることはないし、現在生について考えることも要らないので、そんな考えにとらわれてはいけないのじゃ。たった今の自分の心を見つめなさい。心の清浄な本来の面目を見続けるのじゃ。

菩提心と、愛の心と慈悲の心を、昼も夜も、しっかり掴み続けること、それ以外にない。本来の状態の覚醒を保って、いつも自分の心を浄化し続けることじゃ。

(『噶千語録』, p.84)